

平成 17 年 10 月 31 日

各 位

会 社 名 千代田化工建設株式会社  
代表者名 取締役社長 関 誠夫  
(コード番号 6366 東証第一部)  
問合せ先 主計部長 楠 真治  
(TEL 045-506-9410)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 5 月 18 日の決算発表時に公表した平成 18 年 3 月期(平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)の業績予想および配当予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 平成18年3月期中間個別業績予想の修正(平成17年4月1日～平成17年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 発 表 予 想 ( A )	130,000	5,500	6,000
今 回 修 正 予 想 ( B )	140,000	8,900	9,600
増 減 額 ( B - A )	10,000	3,400	3,600
増 減 率 ( % )	7.7	61.8	60.0
(ご参考) 前 期 実 績 ( 平 成 16 年 9 月 中 間 期 )	97,036	3,778	4,684

2. 平成18年3月期中間連結業績予想の修正(平成17年4月1日～平成17年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 発 表 予 想 ( A )	150,000	6,000	6,500
今 回 修 正 予 想 ( B )	165,000	9,000	10,600
増 減 額 ( B - A )	15,000	3,000	4,100
増 減 率 ( % )	10.0	50.0	63.1
(ご参考) 前 期 実 績 ( 平 成 16 年 9 月 中 間 期 )	116,371	5,153	5,095

3. 平成18年3月期通期個別業績予想の修正（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	270,000	12,500	13,500
今回修正予想（B）	310,000	19,000	16,500
増減額（B - A）	40,000	6,500	3,000
増減率（％）	14.8	52.0	22.2
（ご参考） 前期実績（平成17年3月期）	223,809	9,194	11,877

（ご参考）1株当たり予想当期純利益 86円12銭

4. 平成18年3月期通期連結業績予想の修正（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	310,000	14,000	14,500
今回修正予想（B）	360,000	20,000	17,500
増減額（B - A）	50,000	6,000	3,000
増減率（％）	16.1	42.9	20.7
（ご参考） 前期実績（平成17年3月期）	267,655	11,587	12,863

（ご参考）1株当たり予想当期純利益 91円34銭

5. 平成18年3月期配当予想の修正

（単位：円、％）

	中間期	期末	年間
前回発表予想	-	8	8
今回修正予想	-	10	10
（ご参考） 前期実績（平成17年3月期）	-	6	6

6. 平成18年3月期通期受注予想の修正（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

（単位：百万円、％）

	連結	単体
前回発表予想（A）	350,000	310,000
今回修正予想（B）	600,000	550,000
増減額（B - A）	250,000	240,000
増減率（％）	71.4	77.4
（ご参考） 前期実績（平成17年3月期）	411,292	368,290

## 7. 修正の理由

### ( 中間業績予想の修正 )

売上高につきましては、中間期の為替レートが1 US \$ = 113.19円と、期首予想の1 US \$ = 100円より円安になったことなどを背景に、また、経常利益および中間純利益につきましては、手持工事の完成工事総利益率の改善や、JV持分資産の増加に伴う受取利息の増加などによりそれぞれ増加する見込みです。

### ( 通期業績予想の修正 )

売上高につきましては、海外および国内の好調な受注工事が下期より売上にあがってくることで、また、経常利益、当期純利益は上記要因に加え、手持工事の完成工事総利益率の改善や、JV持分資産の増加に伴う受取利息の増加することなどによりそれぞれ増加する見込みです。

尚、通期予想の為替レートについて、現状の為替水準を反映し期首予想の1 US \$ = 100円から110円に変更することと致します。

### ( 配当予想の修正 )

期首においては8円の配当予想としておりましたが、通期個別業績予想の上方修正を踏まえ、配当予想を10円に増配致します。

### ( 受注高の修正 )

中間期時点でカタル向けラスラファン液化天然ガス 社LNGプラント第6及び第7系列増設工事を同時に受注したことなどにより、期首通期予想を上回る受注高を計上し、また、下期においても海外、国内で引き続き受注環境は堅調に推移すると予想されることより、通期では連結受注高6,000億円、単体受注高5,500億円を見込んでおります。

## 8. 見通しに関する注意事項

この資料に記載されている業績見通しは、種々の前提に基づく将来の予想であり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

従いまして、これらの見通しのみにより依拠した判断をされることは控えるようお願い致します。

以 上